

安否確認システムの概要

総合震災訓練では安否確認システム（セコム安否確認サービス）より本社、東京、千葉、関東、横浜各本支店に所属する約 2,300 名の役職員に安否確認メールを送信し本人の安否、家族の安否、出社の可否を報告することを行いました。又、各支店社屋の状況報告や掲示板を利用しての対策本部召集等の災害情報のやり取りを実施しました。

安否確認システムでは、震度 5 強以上の場合は、災害監視センターより自動的に安否確認メールが送信される設定を行っていますので、災害時には短時間で初動期の対応が可能となります。

現在、役職員のほとんどがメールアドレス・電話番号を登録済みであり、安否確認システムの独自訓練を繰り返し実施しています。又、家族間の安否確認ができるオプションも導入済みです。